

# 野村グローバルSRI 100

## 愛称:野村世界社会的責任投資

追加型投信／内外／株式／インデックス型

### 交付運用報告書

第11期(決算日2015年5月27日)

作成対象期間(2014年5月28日～2015年5月27日)

第11期末(2015年5月27日)	
基準価額	16,624円
純資産総額	3,409百万円
第11期	
騰落率	25.1%
分配金(税込み)合計	80円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供することができる旨を定めております。運用報告書(全体版)は、野村アセットマネジメントのホームページで閲覧・ダウンロードしていただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記ホームページを開く

⇒「ファンド検索」にファンド名を入力しファンドを選択

⇒ファンド詳細ページから「運用報告書(全体版)」を選択

#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、野村グローバルSRI 100 マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として社会的責任に関する基準に合致する世界の企業を対象とした指数である“FTSE4Good Global 100 Index”に採用されているまたは採用が決定された銘柄の株式に実質的に投資を行い、邦貨換算した同指数(FTSE4Good Global 100 Indexに日々の為替レートを乗じて得た指数)の動きをとらえる投資成果を目指して運用を行います。

ここに、当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

#### 野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104

(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

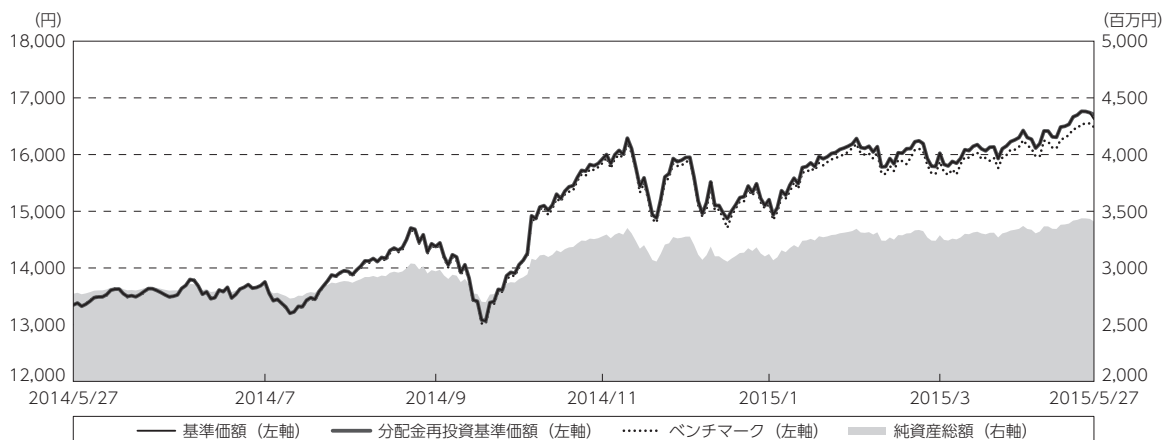


ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## 運用経過

## 期中の基準価額等の推移

(2014年5月28日～2015年5月27日)



期 首：13,348円

期 末：16,624円 (既払分配金(税込み)：80円)

騰落率： 25.1% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2014年5月27日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) ベンチマークは、円換算したFTSE4Good Global 100 Indexです。詳細は3ページをご参照ください。ベンチマークは、作成期首(2014年5月27日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首13,348円から期末16,704円(分配金込み)に3,356円の値上がりとなりました。

米国経済が概ね堅調だったことや、米国の早期利上げ懸念が後退したこと、欧州での追加金融緩和期待が強まったこと、主要通貨が日銀の追加金融緩和決定により対円で上昇(円安)したことを受けて、基準価額は上昇しました。

## 1万口当たりの費用明細

(2014年5月28日～2015年5月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 153	% 1.026	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	( 64)	(0.431)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販売会社)	( 73)	(0.487)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受託会社)	( 16)	(0.108)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売買委託手数料	1	0.005	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	( 1)	(0.005)	
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	( 0)	(0.001)	
(d) その他費用	8	0.053	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	( 6)	(0.039)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	( 0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	( 2)	(0.012)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	162	1.085	
期中の平均基準価額は、14,890円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

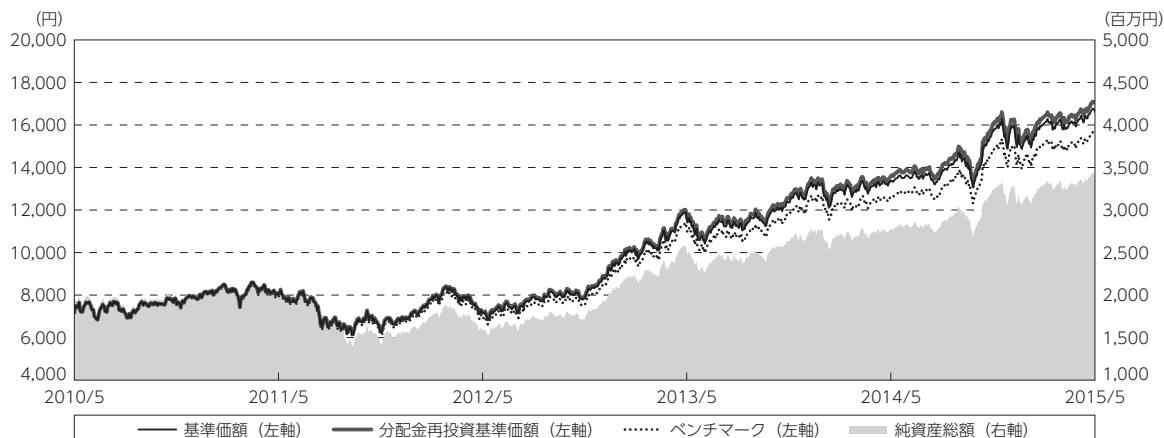
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2010年5月27日～2015年5月27日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。2010年5月27日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) ベンチマークは、円換算したFTSE4Good Global 100 Indexです。詳細は以下をご参照ください。ベンチマークは、2010年5月27日の値が分配金再投資基準価額と同一となるように計算しております。

	2010年5月27日 決算日	2011年5月27日 決算日	2012年5月28日 決算日	2013年5月27日 決算日	2014年5月27日 決算日	2015年5月27日 決算日
基準価額 (円)	7,165	8,001	7,132	11,411	13,348	16,624
期間分配金合計(税込み) (円)	—	40	35	55	65	80
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	12.2	△ 10.4	60.8	17.5	25.1
ベンチマーク騰落率 (%)	—	10.2	△ 12.4	58.6	15.1	23.5
純資産総額 (百万円)	1,862	2,015	1,589	2,471	2,772	3,409

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算当日との比較です。

- \* ベンチマーク (=円換算したFTSE4Good Global 100 Index) は、FTSE4Good Global 100 Index (配当を含まないベース) をもとに、当社が独自に円換算したものです。なお、算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の為替レート(対顧客電信売買相場仲値)で円換算しております。
- \* FTSE4Good Global 100 Indexを含むFTSE4Good Indexシリーズは、世界的に認められつつ受け入れられた「社会的責任に関する基準」に合致する企業を対象とした一連の株式指数です。  
当指数は、世界的なSRI(社会的責任投資)に対する関心の高まりを受けて開発されたものです。
- \* インデックスへの採用企業の選定にあたっては、調査会社の社会的責任に関する調査データを用いて、FTSEの独立した専門委員会によって行われています。

**投資環境**

(2014年5月28日～2015年5月27日)

期首より、ウクライナ情勢の地政学リスクやユーロ圏の経済指標の悪化などが懸念される一方、米国の早期利上げ懸念の後退や欧州での追加金融緩和期待、好調な米企業業績を背景に欧米の株式市場は一進一退の展開となりました。2014年8月中旬以降は、ウクライナ情勢の緊張緩和期待やECB（欧州中央銀行）による追加緩和期待などが強まり上昇しました。

しかし、9月下旬に中東情勢の緊迫化やユーロ圏景気の悪化を示す経済指標が相次いだこと、10月上旬にはIMF（国際通貨基金）が世界景気の見通しを下方修正したことなどを背景に、主要国の株式市場は下落しました。10月中旬以降は、好調な7-9月期米企業決算発表やECBによる追加金融緩和期待、米国の早期利上げ懸念の後退などから主要国の株式市場は上昇しました。

12月上旬には、ギリシャ大統領選挙の前倒し決定により政情不安が高まったことや、原油価格の急落による産油国経済の混乱が懸念されたことなどから中旬にかけ欧米の株式市場は下落しました。その後、FOMC（米連邦公開市場委員会）の声明により慎重な利上げ姿勢が確認されたことが好感され上昇に転じたものの、ユーロ圏景気や原油動向などの先行き不透明感が懸念され再び軟調な展開となりました。

2015年2月に入り、原油価格が安定的に推移したことや、ギリシャのユーロ圏離脱懸念が後退しECBもギリシャ支援に前向きな姿勢を示したことなどが好感され主要国の株式市場は上昇しました。

為替市場は、2014年10月以降、米国の量的緩和の停止が決定されたことや日銀が追加金融緩和を決定したことを受けて、主要通貨が対円で上昇（円安）しました。

**当ファンドのポートフォリオ**

(2014年5月28日～2015年5月27日)

**[野村グローバルSRI 100]**

主要投資対象である [野村グローバルSRI 100 マザーファンド] 受益証券に、期を通じてほぼ全額を投資しました。なお、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行いませんでした。

**[野村グローバルSRI 100 マザーファンド]****・株式組入比率**

引き続き [FTSE4Good Global 100 Index] 構成銘柄に投資し、株式組入比率は期を通じ高位に維持しました。

**・期中の主な動き**

「円換算したFTSE4Good Global 100 Index」の動きをとらえるために、[FTSE4Good Global 100 Index] を構成する全銘柄を投資対象とし、各銘柄への投資比率を [FTSE4Good Global 100 Index] の中で各銘柄が占める比率にほぼ一致させました。[FTSE4Good Global 100 Index] の変更（銘柄入れ替え、比率変更など）に対応して適宜ポートフォリオの見直しを行い、また期中の資金流入に対しても速やかに対応しました。なお為替ヘッジ（為替の売り予約）は行いませんでした。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2014年5月28日～2015年5月27日)

今期の基準価額の騰落率は+25.1%となり、ベンチマークである「円換算したFTSE4Good Global 100 Index」の+23.5%を1.6ポイント上回りました。

主な差異要因は以下の通りです。

### (プラス要因)

ベンチマークは配当収益が含まれていないが、ファンドでは配当収益が含まれていること

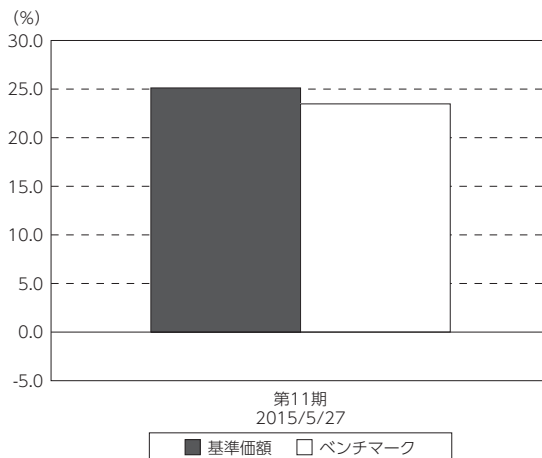
### (マイナス要因)

当ファンドの信託報酬や、マザーファンドにおける売買コストや保管費用などのコスト負担が発生したこと

### (その他、差異を生じた要因)

- ・為替の評価時価による差異（ファンド評価に使用される為替レートとベンチマークの為替レートに時間差があり異なるため）
- ・国内株式の評価時価による差異（ファンド評価に使用される価格とベンチマークの価格に日時差があり異なるため）

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。  
(注) ベンチマークは、円換算したFTSE4Good Global 100 Indexです。

## 分配金

(2014年5月28日～2015年5月27日)

収益分配金は、配当等収益などを勘案して決定させていただきました。

留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

### ○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込み)

項目	第11期	
	2014年5月28日～2015年5月27日	
当期分配金	80	
(対基準価額比率)	0.479%	
当期の収益	80	
当期の収益以外	-	
翌期繰越分配対象額	6,624	

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨五入して算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### [野村グローバルSRI 100]

主要投資対象である[野村グローバルSRI 100 マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、引き続き、「円換算したFTSE4Good Global 100 Index」の中長期的な動きをとらえる投資成果をめざして運用を行います。

### [野村グローバルSRI 100 マザーファンド]

引き続き「円換算したFTSE4Good Global 100 Index」の中長期的な動きをとらえる投資成果をめざして運用を行います。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

野村グローバルSRI 100は、FTSE International Limited (以下、「FTSE」といいます。) またはLondon Stock Exchange Plc (以下、「Exchange」といいます。) により、何ら支援、推奨、販売または販促されるものではなく、FTSEまたはExchangeのいずれも、FTSE4Good Global 100 Index (以下、「指数」といいます。) を用いることによって得られる結果に関しておよび/または特定の時間、日付またはその他の方法で公表される当該指数の数値に関して、明示的または黙示的に担保もしくは表明するものではありません。指数はFTSEによって編集、計算されます。しかしFTSEまたはExchangeのいずれも、指数のいかなる誤りについて何人に対しても (過失であろうとなかろうと) 責任を負わず、当該いかなる誤りについて、何人に対しても通知する義務を負いません。「FTSE<sup>®</sup>」、「FT-SE<sup>®</sup>」および「Footsie<sup>®</sup>」はExchangeの登録商標であり、FTSEはその使用を許諾されています。「All-World」、「All-Share」、「All-Small」および「FTSE4Good」はFTSEの登録商標です。



## お知らせ

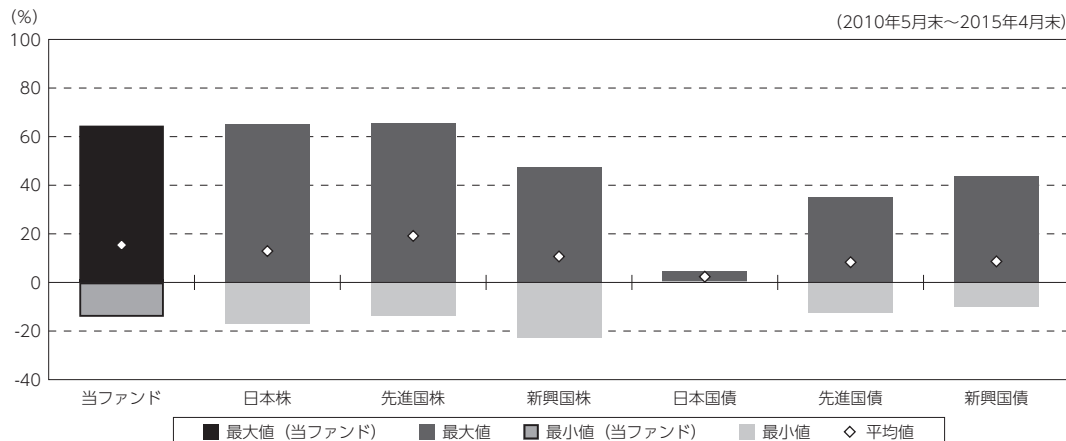
- ①運用報告書（全体版）について電磁的方法により提供する所要の約款変更を行いました。  
 <変更適用日：2014年12月1日>
- ②デリバティブ取引等に係る投資制限に関する所要の約款変更を行いました。  
 <変更適用日：2015年2月24日>

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式／インデックス型	
信託期間	2004年5月28日以降、無期限とします。	
運用方針	社会的責任に関する基準に合致する世界の企業を対象とした指数である“FTSE4Good Global 100 Index”に採用されているまたは採用が決定された銘柄の株式を実質的な主要投資対象とし、円換算した同指数（FTSE4Good Global 100 Indexに日々の為替レートを乗じて得た指数）の動きをとらえる投資成果を目指して運用を行います。株式の実質組入比率は高位を保つことを基本としますが、投資対象市場が休場等の場合は組入比率を一時的に引き下げる場合があります。実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	野村グローバルSRI 100	野村グローバルSRI 100 マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。なお、株式に直接投資する場合があります。
	野村グローバルSRI 100 マザーファンド	FTSE4Good Global 100 Indexに採用されているまたは採用が決定された銘柄の株式を主要投資対象とします。
運用方法	野村グローバルSRI 100 マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として社会的責任に関する基準に合致する世界の企業を対象とした指数である“FTSE4Good Global 100 Index”に採用されているまたは採用が決定された銘柄の株式に実質的に投資を行い、邦貨換算した同指数（FTSE4Good Global 100 Indexに日々の為替レートを乗じて得た指数）の動きをとらえる投資成果を目指して運用を行います。	
分配方針	毎決算時に、原則として配当等収益等を中心として分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	64.5	65.0	65.7	47.4	4.5	34.9	43.7
最小値	△ 14.1	△ 17.0	△ 13.6	△ 22.8	0.4	△ 12.7	△ 10.1
平均値	15.4	12.8	19.1	10.5	2.4	8.2	8.8

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2010年5月から2015年4月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## 《代表的な資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、P12の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2015年5月27日現在)

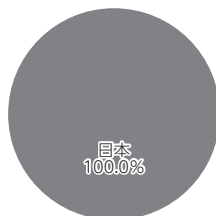
## ○組入ファンド

銘柄名	第11期末
野村グローバルSRI 100 マザーファンド	% 100.0
組入銘柄数	1銘柄

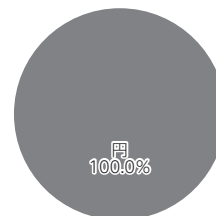
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) 国別配分は、原則として発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

## 純資産等

項目	第11期末
	2015年5月27日
純資産総額	3,409,377,892円
受益権総口数	2,050,816,331口
1万口当たり基準価額	16,624円

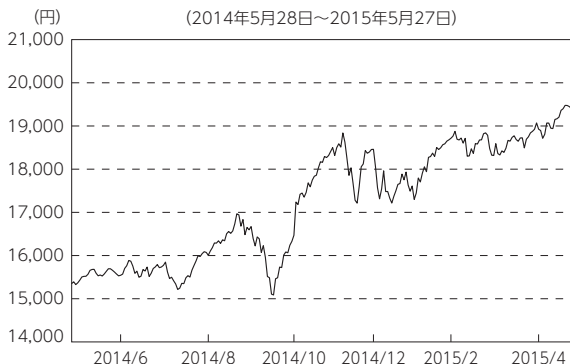
(注) 期中における追加設定元本額は12,532,729円、同解約元本額は39,052,059円です。

## 組入ファンドの概要

## 野村グローバルSRI 100 マザーファンド

運用経過等に関する詳細な内容につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

## 【基準価額の推移】



## 【1万口当たりの費用明細】

(2014年5月28日～2015年5月27日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	1 (1)	0.005 (0.005)
(b) 有価証券取引税 (株式)	0 (0)	0.001 (0.001)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	9 (7) (2)	0.050 (0.039) (0.012)
合計	10	0.056

期中の平均基準価額は、17,212円です。

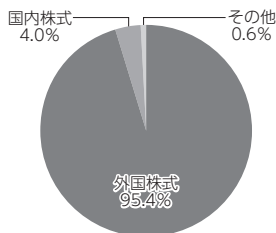
(注) 上記項目の概要につきましては、2ページをご参照ください。

## 【組入上位10銘柄】

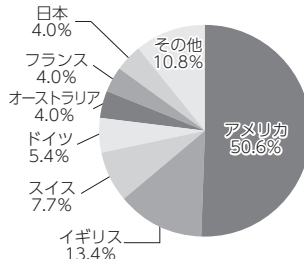
(2015年5月27日現在)

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 APPLE INC	コンピュータ・周辺機器	米ドル	アメリカ	7.1
2 MICROSOFT CORP	ソフトウェア	米ドル	アメリカ	3.2
3 WELLS FARGO CO	銀行	米ドル	アメリカ	2.7
4 JOHNSON & JOHNSON	医薬品	米ドル	アメリカ	2.7
5 NESTLE SA-REG	食品	スイスフラン	スイス	2.3
6 NOVARTIS-REG	医薬品	スイスフラン	スイス	2.3
7 PROCTER & GAMBLE CO	家庭用品	米ドル	アメリカ	2.0
8 ROCHE HOLDINGS (GENUSSCHEINE)	医薬品	スイスフラン	スイス	1.9
9 VERIZON COMMUNICATIONS	各種電気通信サービス	米ドル	アメリカ	1.9
10 DISNEY (WALT) CO	メディア	米ドル	アメリカ	1.8
組入銘柄数	107銘柄			

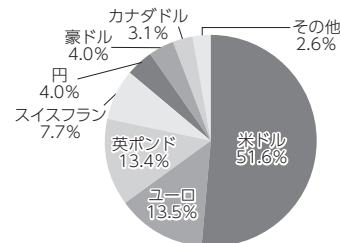
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) 国(地域)および国別配分は、原則として発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

### ○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、株式会社東京証券取引所 (㈱東京証券取引所) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。なお、本商品は、(株)東京証券取引所により提供、保証又は販売されるものではなく、(株)東京証券取引所は、ファンドの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

### ○MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)

### ○MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)、MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利は MSCI に帰属します。また MSCI は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

### ○NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債の知的財産権は、野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、NOMURA-BPI 国債の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、NOMURA-BPI 国債を用いて行われる野村アセットマネジメント株式会社の事業活動、サービスに関し一切責任を負いません。

### ○シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

「シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)」は、Citigroup Index LLC が開発した日本を除く世界主要国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスで、Citigroup Index LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利は、Citigroup Index LLC が有しています。

### ○JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

「JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)」(ここでは「指数」とよびます) についてここに提供された情報は、指数のレベルも含め、但しそれに限定することなく、情報としてのみ使用されるものであり、金融商品の売買を勧誘、何らかの売買の公式なコンファメーション、或いは指数に関連する何らかの商品の価値や値段を決めるものでもありません。また、投資戦略や税金における会計アドバイスを法的に推奨するものでもありません。ここに含まれる市場価格、データ、その他の情報は確かなものと考えられますが、JPMorgan Chase & Co. 及びその子会社 (以下、JPM) がその完全性や正確性を保証するものではありません。含まれる情報は通知なしに変更されることがあります。過去のパフォーマンスは将来のリターンを示唆するものではありません。本資料に含まれる発行体の金融商品について、JPM やその従業員がロング・ショート両方を含めてポジションを持ち、売買を行ったり、またはマーケットメイクを行ったりすることがあり、また、発行体の引受入、プレースメント、エージェンシー、アドバイザー、または貸主になっている可能性もあります。

米国の J.P. Morgan Securities LLC (ここでは「JPMSLLC」と呼びます) (「指数スポンサー」) は、指数に関する証券、金融商品または取引 (ここでは「プロダクト」と呼びます) についての援助、保障または販売促進を行いません。証券或いは金融商品全般、或いは特にプロダクトへの投資の推奨について、また金融市場における投資機会を指数に連動させる或いはそれを目的とする推奨の可否について、指数スポンサーは一切の表明または保証、或いは伝達または示唆を行なうものではありません。指数スポンサーはプロダクトについての管理、マーケティング、トレーディングに関する義務または法的責任を負いません。指数は信用できると考えられる情報によって算出されていますが、その完全性や正確性、また指数に付随する情報について保証するものではありません。指数は指数スポンサーが保有する財産であり、その財産権はすべて指数スポンサーに帰属します。

JPMSLLC は NASD, NYSE, SIPC の会員です。JPMorgan は JP Morgan Chase Bank, NA, JPSI, J.P. Morgan Securities PLC., またはその関係会社が投資銀行業務を行う際に使用する名称です。

(出所：株式会社野村総合研究所、Citigroup Index LLC 他)





### <お申し込み時の留意点>

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようお願いいたします。

(2015年5月27日現在)

年 月	日
2015年5月	-
6月	-
7月	2、3
8月	-
9月	4、7
10月	-
11月	25、26
12月	24、25

※2015年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識している情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご留意下さい。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。